

主題名

**ずっと仲良ししているために**

教材名

**たまちゃん、大すき**（東京書籍）**内容項目 B-9 『 友情・信頼 』**

本単元で育成する資質・能力

思考・表現 協力・協働

**1 対象・日時** 第3学年1組 男子 8名 女子 9名 計 17名**2 令和7年10月24日（金） 第6校時****3 主題設定の理由**

- 本学級の児童は、男女ともに仲が良く、日常生活の中で友達を大切にしようとする姿が多くみられる。しかしその一方で、友達のよさを具体的に言葉にして伝えることが苦手だったり、仲間外れにされることをおそれて、自分の本心とは違う行動をとってしまうたりする児童も一部見られる。また、無意識のうちに相手の気持ちに配慮のない言葉を使ってしまう場面が見られることもある。

事前のアンケートでは、「仲の良い友達はいますか。」という質問に対して、17人中17人が「はい」と回答。「友達とずっと仲良くしていきたいですか。」という質問に対しては17人とも肯定的評価であった。しかし、「友達とずっと仲良ししているために気を付けていることはなんですか。」という質問に対しては17人中7人の児童が「けんかをしないこと」と回答している。このことから、「けんか＝関係が壊れてしまうこと」と捉えており、けんかやすれ違いを通して関係を深めるという発想は十分に育っていないと考えられる。また関係が崩れないように表面的に保つ姿が見られ、「本当の仲の良さ」を育てるための働きかけが必要だと考える。

- 本主題は、第3学年の指導内容B-（9）「友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと」をもとに設定したものである。この段階においては、活動範囲が広がることで、集団との関わりも増え、友達関係も広がってくる。また、気の合う友達同士で仲間を作って自分たちの世界を確保し、楽しもうとする傾向があり、集団での活動などがこれまでになく盛んになる。しかし、自分の利害にこだわることで、友達とトラブルを引き起こすことも少なくない。人間関係の深さの違いや意見の相違などを乗り越え、相手の立場に立って、自分自身が相手にどのように接し対処すべきか考えることが重要である。

友達のことをよく理解し、信頼し、助け合うことで健全な仲間集団を積極的に育成していくことが大切である。そのために、友達のよさを発見することで友達のことを理解したり、友達とのよりよい関係の在り方を考えたり、互いに助け合うことで友達の大切さを実感できるようにしていきたい。

- 本教材は、児童のよく知る「ちびまる子ちゃん」の話である。たまちゃんとの約束を守ったまる子は、約束を守らなかったたまちゃんとトラブルになる。しかし、自分が同じような状況になったことから、たまちゃんの気持ちを理解し、仲直りをする物語だ。

指導に当たっては、「友情・信頼」の価値について、登場人物の心の動きに寄り添いながら考え、自分のこれまでの経験と重ねて捉えていけるようにする。約束を守れなかったたまちゃんと、すぐに許せなかったまる子の姿から、友情とは何か、信頼とはどう築かれるのかを多面的に考えられるようにする。授業では、児童の素直な疑問や気付きから生まれた問いを中心に据え、哲学対話の手法を取り入れて、子どもたち自身で問いを深め合えるようにする。安心して、考えを伝えられる場を大切にしながら、友情や信頼の意味を見つめ直し、これからの人との関わりに生かしていける学びを目指したい。

#### 4 他の教育活動との関連

##### つながる心プロジェクト

before

友達を大切にする一方で、気持ちを伝えたり相手の立場を考えたりすることが難しい。

アンケート

- ① 友達と仲良くするために気を付けていることはどのようなことですか。

事前活動

【学級活動】 いいところ見つけ

日常の中で友達のよさを見つけて伝え合う「おはじき貯金」を行い、思いやりの心や人のよさに気付く視点を育てていく。見つけたよさを認め合う経験を積み重ねることで、一体感や達成感を味わい、自己肯定感を高められるようにする。

【道徳科】教材名：「たまちゃん、大すき」（本時）

たまちゃんとまる子のすれ違いと和解の物語を通して、友情や信頼とは何かについて多面的に考え、相手の立場に立つことの大切さやすれ違いを乗り越える力を育てる。

内容項目：B - 9 友情・信頼

事後活動

【学校行事】学習発表会

仲間と協力しながら発表を作り上げる中で、お互いのよさに気づき、認め合う気持ちを育てていく。みんなでやりきる経験を通して、一体感や達成感を味わい、自己肯定感を高めていく。

【道徳科】教材名「かしたつもり×もらったつもり」

自分の考えを相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる考えを大切にしようとする態度を育てる。

アンケート

- ② 友達と仲良くするために気を付けていることはどのようなことですか。  
③ 友達をこれからどのように大切にしていきたいですか。

after

友達のよさに気づき、思いやりの心をもって関わろうとする。すれ違いや違いを受け止め、相手の立場になって考えながら、自分の気持ちも伝えられる。

## 5 本時の学習

### (1) 本時のねらい

まる子とたまちゃんが涙を流した時の気持ちを考えることを通して、相手の立場になって考えることの大切さに気づき、互いに理解し合いしようとする心情を育てる。

### (2) 学習の流れ

	学習活動	主な発問と予想される児童の心の動き (◎中心発問)	指導上の留意点 (・) (☆評価の観点)
導入 (3分)	1 アンケート結果やこれまでの経験から思い出し合い、課題意識をもつ。	○ずっと仲良くするために気を付けていることは何ですか？ 【アンケートから】 ・ケンカをしないこと。 ・仲間外れにしないこと。 ・言葉遣いに気を付けること。	・アンケート結果や児童の体験を振り返り、「自分」と「友達」の関係を見つめ直すことで、テーマについて問題意識をもって考えられるようにする。
		ずっとなかよしでいるためにはどうしたらいいのかな。	
展開前段 (27分)	2 教材「たまちゃん、大すき」を読んで話し合う。  3 まる子がタイムカプセルを土手に捨ててしまった時の気持ちを考える。	○みなさんはこのお話を読んでどんなことを感じましたか。 ・仲直りできてよかったな。 ・たまちゃんは嘘をついたわけではないのにかわいそう。 ・ケンカしたけど、またタイムカプセルを作ろうって思ったのがいいなと思いました。  ○まる子はどんな気持ちでタイムカプセルを土手に捨てたのかな？ ・うそをつくなんで。 ・約束したのにひどい。 ・許せない。絶対に来るべきだよ。 ・たまちゃんを信じていたのに。	・挿絵を示し、まる子とたまちゃんの関係や状況を確認しながら読み進める。 ・児童の感想について「なんで？ どうしてだろう？」と問い返し、児童自身で問いがもてるようにする。  ・場面ごとに登場人物の状況や心情に軽く触れ、イラストに示すことで二人の関係や心情の変容が分かるようにする。 ・自分本位な考えや思いは自分に対する謙虚さを失わせることがあることに気付けるようにする。

<p style="text-align: center;">学びを深める</p>	<p>4 まる子とたまちゃんがお互いの気持ちに気付いた時の気持ちを考える。</p> <p>5 二人とも涙が止まらなかった理由やその時の気持ちを考える。</p> <p style="text-align: center;">全体</p>	<p>○まる子ははっとしてあることに気付きましたが、どのようなことに気付いたのかな。</p> <p>・たまちゃんも本当は行きたかったけど、行けなかったんだ。</p> <p>○たまちゃんも何かに気付いたんだよね。</p> <p>・寒いのに待っていてくれたんだ。</p> <p>◎どうして二人は涙が止まらなかったのでしょうか。</p> <p>(まる子)</p> <p>・たまちゃんごめんね、ひどいことして。</p> <p>・どうしてあの時謝らなかったんだろう。</p> <p>(たまちゃん)</p> <p>・まる子の気持ちが分かったよ。分かってあげられなくてごめんね。</p> <p>(共通)</p> <p>・また仲良しに戻れるな。よかった。</p> <p>・本当の気持ちが言えてよかったな。</p> <p>・まだ友達でいたいってすごく思ったからじゃないかな。</p> <p>・これからはもっと大切にしたいな。</p> <p>○ずっと仲良しでいるためにはどのようなことが大切かな。</p> <p>・友達の気持ちに気付くことが大切だと思います。</p> <p>・ちゃんと話し合うことが大切だと思います。</p> <p>・「ごめんね。」って勇気がいるけど言うのは大切だと思います。</p>	<p>・お互いの見えなかった相手の気持ちに気付かせることによって、二人の共通した思いを捉えさせる。</p> <p>・円形に子どもを座らせ、対話の循環が生まれやすくなるようにする。</p> <p>・自分だったらどう思うかをそれぞれの立場で考えさせる。</p> <p>・「それってどういう意味でいったの？」などと問い返しやゆさぶりをかけながら、価値の核心に迫らせるようにする。</p> <p>・発言を尊重し合える雰囲気をつくり、それぞれの思いを温かく受け止めていき、より深い学びにつなげられるようにする。</p>
<p>展開後段 (10分)</p> <p style="text-align: center;">学習したことを振り返る</p>	<p>6 今回の学習を振り返る。</p> <p style="text-align: center;">個人 ↓ 全体</p>	<p>○今日の学習を振り返りましょう。</p> <p>・友達は、けんかしてもまた信じ合えるところがいいなと思いました。</p> <p>・気持ちが違ってても、ちゃんと話したら仲良くなれるんだなと思ったので、自分も話していきたいです。</p> <p>・ぼくも「ごめん」って言えて仲直りできたから、これからも素直に気持ちを伝えていきたいな。</p>	<p>☆友達とよりよい関係でいるためには、相手を信頼したり、相手の立場になって考えたりすることなどに気付いている。(発言・ノート)</p>
<p>終末 (5分)</p>	<p>7 教師の説話を聞く。</p>		<p>○授業全体の学びと体験談を結び付け、温かな余韻を残すようにする。</p>

6 板書計画

たまちゃん、大きい

ずっとなかよししているためには？



どんな気持ちでタイムカプセルを  
すてたのかな？

・うそをつく  
なんて。  
・やくそくし  
いたのにひど

・たまちゃん  
もいっしょう  
けんめいまっ  
たんだ。



・まるちゃん、こ  
んなぎむいの  
ごめんね。

二人ともなみだが止まらなかったの  
はどうしてでしょう？

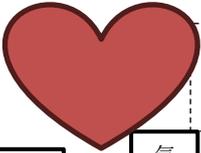


・たまちゃん  
ごめんね、ひ  
どいことし  
て。  
・どうしてあ  
の時あやまら  
なかったんだ  
ろう。

・本当の  
気持ちが  
言えてよ  
かった  
な。  
・まだ友  
だちでい  
たい。  
・これか  
らはもつ  
と大切に  
した  
な。

・まる子の気持  
ちが分かった  
よ。分かってあ  
げられなくて  
ごめんね。  
・つぎはちゃん  
とやくそくを  
守れるように  
するね。

なかよししているために…



気持ちに気付く

考える